



小学生が1日で19×19まで かんぺきに暗算できる本



2年生副担任の前川です。世間では今「小学生が1日で19×19までかんぺきに暗算できる本」という本が話題になっていますね。なんと120万部突破なのだそうです。それだけ多くの小学生が計算に苦労しているということなのでしょう。私もさっそく読んでみました。内容を簡単に紹介しますと

「おみやげ算」という方法を使って、11×11～19×19の答えを簡単な暗算だけで出せる方法がある。この方法を使えば計算のスピードが上がる。すると、算数が得意になって、算数への自信ゲット！（要約：前川）

この本には **すごい**

自まんできちゃう！

算数のテストで **100点満点**をとる回数が **増える！**

19×19まで暗算できるように、算数への自信 **ゲット！**

みんなが知らない **計算法**を身につけて **一歩リード！**

算数が **得意**になる！

17×15が **5秒**で解ける！

受験算数で、ライバルに **一歩**でも **差**をつける！

4

がっつぱい！！

がっつぱい！！

筆算より、**計算のスピード**が上がる！

おみやげ算で **クラスの計算王**を目指す！

大人の **頭の体操**にも **効果大！**

計算の **苦手**がなくなる！

こんなこともできちゃう！！

- 小数、割合計算も暗算**できる！（71ページを見よう）
- 面積、容積、角度の計算**が速くなる！（77ページを見よう）

5

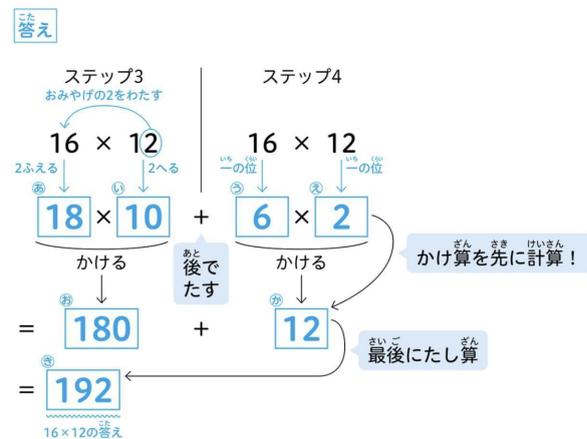
例えば16×12の答えを出す時、従来の方法であれば

- ①16×2=32
- ②16×10=160
- ③32+160=192

3段階で答えを出します。しかし①が暗算では大変なため、多くの方は筆算をするわけです。

しかし、筆算は時間もかかるし大変です。そこで本書は新しい方法を提案しています。

- ①16+2=18
- ②18×10=180
- ③6×2=12
- ④180+12=192



この方法であれば①～④の全てが簡単な計算のため、少し訓練すれば、小学生でも暗算でできるようになるというわけです。

この方法は因数分解を使った考え方です。教科書には採用されていない方法であるものの、数学的にも正しいアプローチであり、理に合っています。

この本を読んで、保護者の皆様はどう思われるでしょうか。

「なんて画期的だ！ウチの子にもやらせたい！」

「学校で習わない方法を教えるのは、心配だ。」

「この方法だと、そんなに楽になるの？似たようなものじゃないの？」

「そもそも、楽しませることは子どものためになるの？」

色々な感想があると思います。次号で前川の思いを書かせていただきます 😊